

授 業 科 目	リハビリテーション体育		
教 育 内 容	基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	
担 当 教 員	梅崎 多美		
学 年	1	単 位 数	1
開 講 時 期	前期・後期	時 間 数	実習 45 時間

■ 授 業 概 要

生涯にわたって運動やスポーツを親しむのに必要な素養と、健康に生きていくために必要な身体能力、知識などを身に付けることをねらいとする。授業では、様々な身体運動とスポーツ種目の経験を通して、「身体を動かす楽しさ」「チャレンジ」「協力」「フェアプレー」「安全」に関する態度を学ぶ。

■ 到 達 目 標

- 1) パラスポーツおよび生涯スポーツを体験し、そのルールを理解する
- 2) 自ら実施できるストレッチを習得し、生活の中で活用する
- 3) 義肢装具や車椅子等を使用する障害のある方への介助方法を知る

■ 授 業 内 容

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	ストレッチ、車いす操作法、介助法
第 3 回 第 23 回	<p>天候、体育館の使用状況、受講者の希望等を考慮し、以下のスポーツを中心に授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・バスケットボール ・テニス ・ボッチャ ・卓球 ・チェックボール ・アルティメット ・スポーツチャンバラ ・ドッジボール ・体力評価(新体カテスト) <ul style="list-style-type: none"> ・シッティングバレーボール ・車いすバスケットボール ・車いすテニス ・ゴールボール ・サウンドテーブルテニス ・バドミントン ・グラウンドゴルフ ・シャッフルボード ・ドッジビー <p style="text-align: right;">など</p>

■ 評 価 方 法

本科目の評価は「平常点」により行う。平常点は、積極的な授業への参加態度を評価対象とする。
平常点100%

■ 教 科 書

特になし

■ 留 意 事 項

ストレッチは準備運動として毎時間実施する。
 <担当教員の実務経験>
 本学院リハビリテーション体育学科の専任教員として勤務。